

立命館大学大学院
2024年度実施 入学試験

専門職学位課程

教職研究科
実践教育専攻

| 入試方式 | 実施月 | 専門科目 | | 小論文 | |
|----------|-----|-------|----|-------|----|
| | | ページ | 備考 | ページ | 備考 |
| 一般入学試験 | 9月 | P.1~ | | | |
| | 11月 | P.9~ | | | |
| | 2月 | P.17~ | | | |
| 社会人入学試験 | 9月 | | | P.6~ | |
| | 11月 | | | P.14~ | |
| | 2月 | | | P.22~ | |
| 学内進学入学試験 | 9月 | | | | |
| | 11月 | | | | |
| | 2月 | | | | |

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

2025 年 4 月入学 教職研究科
一般入学試験（2024 年 9 月実施）

筆記試験（専門科目）

| |
|------|
| 試験時間 |
|------|

| |
|-------------------|
| 10 : 00 ~ 12 : 00 |
|-------------------|

■受験にあたっての注意

1. 配布された冊子と受験科目が一致しているか確認してください。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けてはいけません。
3. 下書き用紙はこの冊子の中に入っています。必要に応じて活用してください。
4. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
5. 試験開始の指示があった後、本冊子の表紙及び解答用紙の全ページに受験番号、氏名を記入してください。
6. 本冊子も試験終了後に回収します。

| 受験番号 | 氏名 |
|------|----|
| | |

1. 次の文章を読み、問いにすべて答えなさい。

2017（平成 29）年及び 2018（平成 30）年に改訂された小学校、中学校、高等学校の学習指導要領では、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成が重視されている。この点について、学習指導要領の第 1 章総則では、次の 2 点が規定されている。

- (1) 各学校においては、児童（生徒）の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。
- (2) 各学校においては、児童（生徒）や学校、地域の実態及び児童（生徒）の発達の段階を考慮し、豊かな人生の実現や災害等乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくことができるよう、各学校の特色を生かした教育課程の編成を図るものとする。

前者の (1) は、「学習の基盤となる資質・能力の育成」について規定されたものであるが、中でも、情報化が人々の予想を越えて急速に進展する現代社会において、「情報活用能力」の育成は重要となっている。2023（令和 5）年 6 月に閣議決定された第 4 期の教育振興基本計画においても、目標 11「教育 DX の推進・デジタル人材の育成」の基本施策の 1 つとして「児童生徒の情報活用能力の育成」が掲げられている。そこでは、「特に、情報技術を活用した問題の発見・解決の方法や、情報化が社会の中で果たす役割や影響、情報技術に関する制度・マナー、個人が果たす役割や責任、情報の真偽を吟味する力、複数の情報を結びつけて新たな意味を見いだす力、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けさせることを重視する」とされている。GIGA(Global and Innovation Gateway for All) スクール構想が進展するとともに、2024（令和 6）年 4 月からは、いわゆるデジタル教科書も本格的に導入されるようになっており、①各教科等の学習においても、ICT を効果的に活用しながら、「情報活用能力」を育成することがよりいっそう求められている。

後者の (2) は、「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」の育成について規定されたものである。成熟社会に移行しつつあり、変化の激しい現代社会においては、求められる資質・能力も変化している。学校教育で育成されている資質・能力と、社会で求められる資質・能力とが乖離しているのではないかとの指摘もある中で、②学校の様々な場面において、「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」を育成していくことは重要である。この資質・能力について、2016（平成 28）年 12 月の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」においては、次のようなものが例示されている。

- ・健康・安全・食に関する力
- ・主権者として求められる力

- ・新たな価値を生み出す豊かな創造性
- ・グローバル化の中で多様性を尊重するとともに、現在まで受け継がれてきた我が国固有の領土や歴史について理解し、伝統や文化を尊重しつつ、多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力
- ・地域や社会における産業の役割を理解し地域創生等に生かす力
- ・自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる力
- ・豊かなスポーツライフを実現する力

これらの資質・能力を育成するには、それぞれの教科等の役割を明確にしながら、教科等横断的な視点で育成していくことができるよう教育課程を編成することが必要である。

現在の学習指導要領で重視されている、教科等横断的な視点に立った資質・能力を育成するには、多様な方法が想定され、全国一律のモデルはない。それゆえに、児童生徒、学校、地域の実態、児童生徒の発達の段階などを考慮しながら、各学校の特色を生かした目標や指導の重点を計画し、教育課程を編成・実施していくことが求められている。同時に、各教科の学習においても、教科の特質を活かしながら、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成に取り組んでいくことが求められている。

【問1】

本文中の下線部①について、あなたの担当する教科では、ICT を効果的に活用しながら「情報活用能力」を育成するために、どのような学習指導が構想できるか、具体的な学習内容を例示しながら、簡潔に述べなさい。文中に、学校種と教科を明記すること。(400字以内)

【問2】

本文中の下線部②について、本文中に例示されている「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」を育成するには、学校のどのような場面で、どのような学習指導をすることが効果的であるか、具体的な学習内容を例示しながら、簡潔に述べなさい。文中に、学校種及び学習を行う場面(教科、特別活動、総合的な学習(探究)の時間等)を明記すること。(400字以内)

2. 次の2つの問いから1つを選択し、400字以内で説明しなさい。
(解答用紙に、選択した問題の番号を記載すること)

【問1】

1989年に第44回国連総会において採択された「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」では、4つの原則(①差別の禁止、②児童の最善の利益、③生命・生存・発達に関する権利、④意見を表明する権利)が掲げられている。これらの原則を踏まえると、教師としてどのような生徒指導が求められるか。生徒指導の具体的な内容について、あなたの考えを述べなさい。(400字以内)

【問2】

児童生徒が、自らの学習を調整していくためには、「メタ認知」が重要になる。「メタ認知」の力を高めるための授業での取組みには、どのようなものが考えられるか。学校種と教科を明示して、具体的に述べなさい。(400字以内)

3. 次の6つの用語の中から、3つを選択し、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。
(解答用紙には、選択した番号及び用語名を記入すること)

- ① 校務分掌
- ② 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」
- ③ 聴覚情報処理障害 (APD)
- ④ 性的マイノリティ
- ⑤ ワークショップ
- ⑥ SDGs ウォッシュユ

2025年4月入学 教職研究科
社会人入学試験（2024年9月実施）

筆記試験(小論文)

試験時間

10 : 00 ~ 12 : 00

■受験にあたっての注意

1. 配布された冊子と受験科目が一致しているか確認してください。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けてはいけません。
3. 下書き用紙はこの冊子の中に入っています。必要に応じて活用してください。
4. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
5. 試験開始の指示があった後、本冊子の表紙及び解答用紙の全ページに受験番号、氏名を記入してください。
6. 本冊子も試験終了後に回収します。

| 受験番号 | 氏名 |
|------|----|
| | |

1. 次の文章を読み、論題に答えなさい。

2017（平成 29）年及び 2018（平成 30）年に改訂された小学校、中学校、高等学校の学習指導要領では、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成が重視されている。この点について、学習指導要領の第 1 章総則では、次の 2 点が規定されている。

- (1) 各学校においては、児童（生徒）の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。
- (2) 各学校においては、児童（生徒）や学校、地域の実態及び児童（生徒）の発達の段階を考慮し、豊かな人生の実現や災害等乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくことができるよう、各学校の特色を生かした教育課程の編成を図るものとする。

前者の (1) は、「学習の基盤となる資質・能力の育成」について規定されたものであるが、中でも、情報化が人々の予想を越えて急速に進展する現代社会において、「情報活用能力」の育成は重要となっている。2023（令和 5）年 6 月に閣議決定された第 4 期の教育振興基本計画においても、目標 11「教育 DX の推進・デジタル人材の育成」の基本施策の 1 つとして「児童生徒の情報活用能力の育成」が掲げられている。そこでは、「特に、情報技術を活用した問題の発見・解決の方法や、情報化が社会の中で果たす役割や影響、情報技術に関する制度・マナー、個人が果たす役割や責任、情報の真偽を吟味する力、複数の情報を結びつけて新たな意味を見いだす力、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けさせることを重視する」とされている。GIGA(Global and Innovation Gateway for All) スクール構想が進展するとともに、2024（令和 6）年 4 月からは、いわゆるデジタル教科書も本格的に導入されるようになっており、各教科等の学習においても、ICT を効果的に活用しながら、「情報活用能力」を育成することがよりいっそう求められている。

後者の (2) は、「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」の育成について規定されたものである。成熟社会に移行しつつあり、変化の激しい現代社会においては、求められる資質・能力も変化している。学校教育で育成されている資質・能力と、社会で求められる資質・能力とが乖離しているのではないかとの指摘がなされる中で、学校の様々な場面において、「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」を育成していくことは重要である。この資質・能力について、2016（平成 28）年 12 月の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」においては、次のようなものが例示されている。

- ・健康・安全・食に関する力
- ・主権者として求められる力

- ・新たな価値を生み出す豊かな創造性
- ・グローバル化の中で多様性を尊重するとともに、現在まで受け継がれてきた我が国固有の領土や歴史について理解し、伝統や文化を尊重しつつ、多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力
- ・地域や社会における産業の役割を理解し地域創生等に生かす力
- ・自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる力
- ・豊かなスポーツライフを実現する力

これらの資質・能力を育成するには、それぞれの教科等の役割を明確にしながら、教科等横断的な視点で育成していくことができるよう教育課程を編成することが必要である。

現在の学習指導要領で重視されている、教科等横断的な視点に立った資質・能力を育成するには、多様な方法が想定され、全国一律のモデルはない。それゆえに、児童生徒、学校、地域の実態、児童生徒の発達段階などを考慮しながら、各学校の特色を生かした目標や指導の重点を計画し、教育課程を編成・実施していくことが求められている。同時に、各教科の学習においても、教科の特質を活かしながら、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成に取り組んでいくことが求められている。

【論題】

あなたの勤務校で、本文にある「教科等横断的な視点に立った資質・能力」を、児童生徒、学校、地域の実態を踏まえながら、教育課程全体で育成するために、組織的に課題となっていることは何か。また、その課題を克服するには、どのような取り組みを行う必要があると考えられるか。具体的な課題や取り組みを例示しながら、あなたの考えを述べなさい。なお、文中では、勤務校の学校種や特色に触れながら記述すること。(1600字以内)

2025 年 4 月入学 教職研究科
一般入学試験（2024 年 11 月実施）

筆記試験（専門科目）

試験時間

10 : 00 ~ 12 : 00

■受験にあたっての注意

1. 配布された冊子と受験科目が一致しているか確認してください。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けてはいけません。
3. 下書き用紙はこの冊子の中に入っています。必要に応じて活用してください。
4. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
5. 試験開始の指示があった後、本冊子の表紙及び解答用紙の全ページに受験番号、氏名を記入してください。
6. 本冊子も試験終了後に回収します。

| 受験番号 | 氏 名 |
|------|-----|
| | |

1. 次の文章を読み、問いにすべて答えなさい。

日本の学校教育では ICT や AI（人工知能）、ビッグデータ等が重要視されるようになってきている。その背景には、Society5.0 の到来予想があり、労働や雇用、社会の大きな構造転換に対して、子どもたちが学校教育の段階からコンピューターサイエンスといった最先端科学に触れていくことが求められていることが挙げられよう。特に、世界規模でデジタル変革が進む中で、教育の場においても子どもたちが ICT や AI を活用して学び、スキルを身につけることが求められるようになってきている。このような状況の中、文部科学省は、2019年12月に「GIGA スクール構想」を発表し、全国の小中学校における一人一台端末の普及を推進した。文部科学省は GIGA スクール構想を次のように定義している（文部科学省「リフレット：GIGA スクール構想の実現へ」より）。

- ・ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力がいつでも確実に育成できる教育環境を実現する
- ・ これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

この定義からわかるように、基本的には、多様な個性を持った子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された学びを提供することによって資質・能力を育んでいこうとする取組みである。

コロナパンデミックによって 2020 年に加速したこの計画は、すべての児童生徒が ICT 機器を使用し、授業において情報を収集・分析しながら思考を深めることを目的とした。また、AI 技術を取り入れた教育プログラムの導入も進んでおり、AI を活用した問題解決型学習やデータに基づく個別指導が、教育現場において実現可能となっている。このような取組みにより、それぞれの子どもたち一人ひとりに最適化された学びを提供することが可能になり、また自動採点等の導入によって教員の負担も減らすことが可能になったと言える。まさに学校教育はデジタルへの移行、すなわち教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めているのである（文部科学省は 2020 年に「文部科学省におけるデジタル化推進プラン」を発表）。

今後、日本の学校教育では教育 DX によって ICT や AI の活用はさらに拡大することが予想されている。特に、教育ビッグデータや AI を活用してそれぞれの個に応じた学びを提供する「アダプティブ・ラーニング」といった、児童生徒の学習速度や理解度に応じた授業支援がより一層進んでいくであろう。また、アダプティブ・ラーニングやデジタル教材、VR（仮想現実）技術、STEAM 教育などによって、これまでの授業設計が変わっていくことも考えられ、子どもたちが自ら学び続けるための環境をどのように整備していくのかについて検討していく必要がある。

同時に ICT や AI の導入に伴う課題も捉えていく必要がある。例えば、情報モラル教育やデジタルシティズンシップ教育の重要性、教員の ICT スキル向上が求められているほか、端末管理やセキュリティ対策なども課題である。これらの課題を解決しながら、ICT や AI が本質的な学びのツールとして定着していくことを考えなければならない。

【問 1】

下線部『『アダプティブ・ラーニング』』といった、児童生徒の学習速度や理解度に応じた授業支援がより一層進んでいく」とありますが、AI を活用した個別学習の広がりによって、教師の役割はどのように変わっていくことが予想されるでしょうか。また、変わらない教師の役割はあるでしょうか。あなたの見解を述べなさい。(400 字以内)

【問 2】

学校教育が DX 化し、教育 AI 等が今後ますます導入されることが考えられますが、本文を参考にしながら期待される効果と課題についてあなたの見解を述べなさい。(400 字以内)

2. 次の2つの問いから1つを選択し、400字以内で説明しなさい。**(解答用紙に、選択した問題の番号を記載すること)****【問1】**

共生社会の実現に向けて、学校と地域のさらなる連携・協働が期待されている。あなたが教師として、地域との連携・協働の新しい企画を立案するよう求められた場合、どのような取組みを構想するか、校種を明示した上で（必要であれば学校及び児童生徒の特徴や学年・教科等を設定してもよい）、取組みの具体的な内容と期待される効果を述べなさい。（400字以内）

【問2】

現行の学習指導要領「総則」には、「教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと」とある。ここに記されている「教育の内容」とは具体的にどのようなものがあるか3つ答えるとともに、それらを教科横断的な視点で組み立てる理由を書きなさい。（400字以内）

3. 次の6つの用語の中から、3つを選択し、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。
(解答用紙には、選択した番号及び用語名を記入すること)

- ① 適性処遇交互作用 (ATI)
- ② 指導と評価の一体化
- ③ 多職種連携・協働
- ④ 障害の社会モデル
- ⑤ フォト・ランゲージ
- ⑥ 子どもの貧困

2025年4月入学 教職研究科
社会人入学試験（2024年11月実施）

筆記試験(小論文)

| |
|------|
| 試験時間 |
|------|

| |
|-------------------|
| 10 : 00 ~ 12 : 00 |
|-------------------|

■受験にあたっての注意

1. 配布された冊子と受験科目が一致しているか確認してください。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けてはいけません。
3. 下書き用紙はこの冊子の中に入っています。必要に応じて活用してください。
4. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
5. 試験開始の指示があった後、本冊子の表紙及び解答用紙の全ページに受験番号、氏名を記入してください。
6. 本冊子も試験終了後に回収します。

| 受験番号 | 氏名 |
|------|----|
| | |

1. 次の文章を読み、論題に答えなさい。

日本の学校教育では ICT や AI（人工知能）、ビッグデータ等が重要視されるようになってきている。その背景には、Society5.0 の到来予想があり、労働や雇用、社会の大きな構造転換に対して、子どもたちが学校教育の段階からコンピューターサイエンスといった最先端科学に触れていくことが求められていることが挙げられよう。特に、世界規模でデジタル変革が進む中で、教育の場においても子どもたちが ICT や AI を活用して学び、スキルを身につけることが求められるようになってきている。このような状況の中、文部科学省は、2019 年 12 月に「GIGA スクール構想」を発表し、全国の小中学校における一人一台端末の普及を推進した。文部科学省は GIGA スクール構想を次のように定義している（文部科学省「リフレット：GIGA スクール構想の実現へ」より）。

- ・ 1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力がいつそう確実に育成できる教育環境を実現する
- ・ これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

この定義からわかるように、基本的には、多様な個性を持った子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された学びを提供することによって資質・能力を育んでいこうとする取組みである。

コロナパンデミックによって 2020 年に加速したこの計画は、すべての児童生徒が ICT 機器を使用し、授業において情報を収集・分析しながら思考を深めることを目的とした。また、AI 技術を取り入れた教育プログラムの導入も進んでおり、AI を活用した問題解決型学習やデータに基づく個別指導が、教育現場において実現可能となっている。このような取組みにより、それぞれの子どもたち一人ひとりに最適化された学びを提供することが可能になり、また自動採点等の導入によって教員の負担も減らすことが可能になったと言える。まさに学校教育はデジタルへの移行、すなわち教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めているのである（文部科学省は 2020 年に「文部科学省におけるデジタル化推進プラン」を発表）。

今後、日本の学校教育では教育 DX によって ICT や AI の活用はさらに拡大することが予想されている。特に、教育ビッグデータや AI を活用してそれぞれの個に応じた学びを提供する「アダプティブ・ラーニング」といった、児童生徒の学習速度や理解度に応じた授業支援がより一層進んでいくであろう。また、アダプティブ・ラーニングやデジタル教材、VR（仮想現実）技術、STEAM 教育などによって、これまでの授業設計が変わっていくことも考えられ、子どもたちが自ら学び続けるための環境をどのように整備していくのかについて検討していく必要がある。

同時に ICT や AI の導入に伴う課題も捉えていく必要がある。例えば、情報モラル教育やデジタルシティズンシップ教育の重要性、教員の ICT スキル向上が求められているほか、端末管理やセキュリティ対策なども課題である。これらの課題を解決しながら、ICT や AI が本質的な学びのツールとして定着していくことを考えなければならない。

【論題】

あなたの勤務校では GIGA スクール構想によってどのような取組みがなされるようになりましたか。またその取組みによってどのような課題が明らかになりましたか。さらにその課題を克服していくためには、今後どのような取組みを行っていく必要がありますか。具体的な取組み、明らかになった課題、課題の克服方法を示しながら、今後の学校教育における DX 化についてあなたの見解を述べなさい。(1600 字以内)

2025 年 4 月入学 教職研究科
一般入学試験（2025 年 2 月実施）

筆記試験（専門科目）

| |
|------|
| 試験時間 |
|------|

| |
|-------------------|
| 10 : 00 ~ 12 : 00 |
|-------------------|

■受験にあたっての注意

1. 配布された冊子と受験科目が一致しているか確認してください。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けてはいけません。
3. 下書き用紙はこの冊子の中に入っています。必要に応じて活用してください。
4. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
5. 試験開始の指示があった後、本冊子の表紙及び解答用紙の全ページに受験番号、氏名を記入してください。
6. 本冊子も試験終了後に回収します。

| 受験番号 | 氏 名 |
|------|-----|
| | |

1. 次の文章を読み、問いにすべて答えなさい。

学校の教室には、児童生徒の障害やルーツによって、いわゆるマイノリティとされている子どもたちがいる。その中でも、セクシュアリティ（性のあり方）における少数派のことを性的マイノリティと呼ぶ。LGBTという言葉が用いられることが多く、Lがレズビアン、Gがゲイ、Bがバイセクシュアルの頭文字で、この三つは性的指向を表す。Tはトランスジェンダーで、これは性自認を表している。LGBT以外にも多くの名称が存在し、性のあり方は多様であることがわかる。

近年の国内研究では、性的マイノリティに該当する人は全世代で5～8%いるといわれており、学校においても人知れず悩んでいる児童生徒がいると捉えるのが妥当であろう。ある人権NGOが2015年に行った調査では、性的マイノリティ当事者458人のうち、85%が「**(A)**教師やほかの生徒から性的マイノリティに対する暴言や否定的な言葉、もしくは冗談を言うのを聞いたことがある」という結果が出ている。性的マイノリティは自殺念慮をもつ割合が高いという事実と併せて考えると、この結果は見過ごせない。その一方で、教員養成課程でセクシュアリティを学ぶ機会は少ない。教員を対象とした2016年の大規模調査によると、出身養成機関・独学・現職研修すべてで性的マイノリティ全般について学んだことのある教師は、20代で6.7%、50代で0.9%にとどまった。

このように、性的マイノリティに該当する児童生徒は長い間十分に認知されてこなかったが、文部科学省によって、2015年に「性同一性障害や性的指向・性自認に係る児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施等について」が通知されたのは大きな一歩だったと言えるだろう。（現在、一般的には性同一性障害という呼称は用いない。2019年に採択された国際疾病分類第11版（ICD-11）では「性別不合」という名称に変更され、精神疾患ではなくなった。）さらに、2022年改訂の生徒指導提要では、「第12章 性に関する課題」に「**(B)**12.4.1『性的マイノリティ』に関する理解と学校における対応」、**12.4.2『性的マイノリティ』**に関する学校外における連携・協働」が新たに設けられ、具体性をもった支援事例が示されている。性的マイノリティの児童生徒といじめ防止の基本方針とが強く関連づけられている点も重要である。

しかし、まだ課題は残されている。LGBT法連合会は、生徒指導提要が示している対応は、「環境そのものを改善するのではなく、個別に課題を抱えている『マイノリティ』の学生の課題に対処するという視点が貫かれて」と批判している。また、2015年の通知以降の医学的進歩や社会の動きが反映されていないことも課題としている。文部科学省の文書に依然として性同一性障害という名称が用いられていることは、課題の一例と言えよう。性的マイノリティという概念そのものについて、学校全体と教師一人ひとりがどのような視点をもっているかが問われている。

【問 1】

下線(A)にあるような、性的マイノリティに対する暴言や否定的な言葉はなぜ生まれるのか。あなたの考えを述べなさい。(400字以内)

【問 2】

下線(B)に関して、生徒指導提要には性的マイノリティの児童生徒に対する配慮・支援の一例として、自認する性別の制服の着用を認めることが記載されている。そのほかに学校の取り組みとして、性的マイノリティの児童生徒に対してどのような具体的な配慮・支援ができるか、あなたの考えを述べなさい。(400字以内)

2. 次の2つの問いから1つを選択し、400字以内で説明しなさい。

(解答用紙に、選択した問題の番号を記載すること)

【問1】

近年、学校の部活動を学校単位の取組みから地域単位の取組みとしていく、いわゆる、「部活動の地域移行」が進められようとしている。「部活動の地域移行」について、どのようなメリットとデメリットが考えられるか、あなたの見解を具体的に述べなさい。(400字以内)

【問2】

「真正の学び」とは、どのような特徴のある学びなのかを説明し、そのような学びを実現する授業の具体例を、学校種と教科を明示してあげなさい。(400字以内)

3. 次の6つの用語の中から、3つを選択し、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。
(解答用紙には、選択した番号及び用語名を記入すること)

- ① 学習の個性化
- ② 遠隔教育
- ③ 常態的・先行的（プロアクティブ）生徒指導
- ④ レリバンス
- ⑤ LD（学習障害）
- ⑥ ファシリテーション

2025年4月入学 教職研究科
社会人入学試験（2025年2月実施）

筆記試験(小論文)

| |
|------|
| 試験時間 |
|------|

| |
|-------------------|
| 10 : 00 ~ 12 : 00 |
|-------------------|

■受験にあたっての注意

1. 配布された冊子と受験科目が一致しているか確認してください。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けてはいけません。
3. 下書き用紙はこの冊子の中に入っています。必要に応じて活用してください。
4. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
5. 試験開始の指示があった後、本冊子の表紙及び解答用紙の全ページに受験番号、氏名を記入してください。
6. 本冊子も試験終了後に回収します。

| 受験番号 | 氏名 |
|------|----|
| | |

1. 次の文章を読み、論題に答えなさい。

学校の教室には、児童生徒の障害やルーツによって、いわゆるマイノリティとされている子どもたちがいる。中でも、セクシュアリティ（性のあり方）における少数派のことを性的マイノリティと呼ぶ。LGBTという言葉が用いられることが多く、Lがレズビアン、Gがゲイ、Bがバイセクシュアルの頭文字で、この三つは性的指向を表す。Tはトランスジェンダーで、これは性自認を表している。LGBT以外にも多くの名称が存在し、性のあり方は多様であることがわかる。

近年の国内研究では、性的マイノリティに該当する人は全世代で5～8%いるといわれており、学校においても人知れず悩んでいる児童生徒がいると捉えるのが妥当であろう。ある人権NGOが2015年に行った調査では、性的マイノリティ当事者458人のうち、85%が「教師やほかの生徒から性的マイノリティに対する暴言や否定的な言葉、もしくは冗談を言うのを聞いたことがある」という結果が出ている。性的マイノリティは自殺念慮をもつ割合が高いという事実と併せて考えると、この結果は見逃ごせない。その一方で、教員養成課程でセクシュアリティを学ぶ機会は少ない。教員を対象とした2016年の大規模調査によると、出身養成機関・独学・現職研修すべてで性的マイノリティ全般について学んだことのある教師は、20代で6.7%、50代で0.9%にとどまった。

このように、性的マイノリティに該当する児童生徒は長い間十分に認知されてこなかったが、文部科学省によって、2015年に「性同一性障害や性的指向・性自認に係る児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施等について」が通知されたのは大きな一歩だったと言えるだろう。（現在、一般的には性同一性障害という呼称は用いない。2019年に採択された国際疾病分類第11版（ICD-11）では「性別不合」という名称に変更され、精神疾患ではなくなった。）さらに、2022年改訂の生徒指導提要では、「第12章 性に関する課題」に「12.4.1 『性的マイノリティ』に関する理解と学校における対応」、「12.4.2 『性的マイノリティ』に関する学校外における連携・協働」が新たに設けられ、具体性をもった支援事例が示されている。性的マイノリティの児童生徒といじめ防止の基本方針とが強く関連づけられている点も重要である。

しかし、まだ課題は残されている。LGBT法連合会は、生徒指導提要が示している対応は、「環境そのものを改善するのではなく、個別に課題を抱えている『マイノリティ』の学生の課題に対処するという視点が貫かれて」と批判している。また、2015年の通知以降の医学的進歩や社会の動きが反映されていないことも課題としている。文部科学省の文書に依然として性同一性障害という名称が用いられていることは、課題の一例と言えよう。性的マイノリティという概念そのものについて、学校全体と教師一人ひとりがどのような視点をもっているかが問われている。

【論題】

下線部にあるように、性的マイノリティの生きづらさは、自殺念慮をもつ割合が高いということに表れている。性的マイノリティの児童生徒が取り残された感覚をもつことなく、自分らしく生きられるよう支援するためには、教師がどのような視点をもつことが重要か、またその視点に基づきながら、どのような教育実践ができるのか、課題も含めて論じなさい。

(1600字以内)